

浜松観光ボランティアガイドの会

## 研修部主催研修会「浜松宿を歩こう」

令和2年度はコロナ禍のため4月の定期総会をはじめ各種行事が中止になりましたが、久しぶりに研修部主催の研修会「浜松宿を歩こう」が11月12日(木)に開催されました。ウイルス感染防止のため集合場所のJR浜松駅キタラにきた順に、説明者を含めて6人の小グループで出発しました。研修部員全員と大村会長と大見副会長が説明者となり、10組の総勢63人の参加となりました。

コースは遠鉄西鹿島線馬込駅跡⇒松江町地下道跡⇒浜松まつり統制管理部事務所⇒松木橋⇒浜松藩刑場跡⇒東海道線木戸踏切跡⇒マルトパン工場跡⇒鈴木式織機発祥地⇒東海道筋さらし首場跡⇒旧掛塚街道入口⇒馬込橋⇒東番所跡⇒庚申堂跡⇒延命地蔵⇒大聖寺跡⇒万年橋⇒秋葉神社一の鳥居跡⇒枳形跡⇒大手門跡⇒五社小路⇒諏訪小路⇒鴨江小路⇒若宮小路⇒松尾神社⇒東漸寺⇒法林寺⇒西導寺廃寺⇒西番所跡⇒伊藤平左衛門本陣跡⇒杉浦惣兵衛本陣跡⇒中番所跡⇒問屋跡⇒梅谷本陣跡です。

研修副部長の古山貴朗さんは「昨年歩いた舞坂宿と比べると浜松宿には古い建物は少ないが、江戸時代の宿場町から現代までの発展の痕跡を感じてもらいたい」と研修目的を語っていました。

JR浜松駅キタラからJR高架下歩道をひたすら東に進み、東海道線松江町地下道跡に到着し、説明者の研修部員の桶田忠正さんから当時の写真を見せてもらい、私が若い頃にこの近くで車のガス欠で立ち往生したことを思い出しました。相生町は当時の建物が何も残っていませんが、掛塚街道、秋葉街道の始発点であった場所に立ち、交通や産業の要所で繁栄していたであろうと再認識しました。

交通量が激しい東海道の歩道を大手門方向に進むと延命地蔵(夢あげ地蔵)に着きました。安政5年(1858年)に延命地蔵はコレラの大流行で亡くなった人を供養するために建立されたとのことです。大きな地蔵を見上げて、現在のコロナ禍が終息することを願わずにはいられませんでした。

大手門跡を通り過ぎて「秀吉時代の東海道といわれる通り」を南に向かいました。この通りに谷島屋書店の駐車場があり、大型書店が少ない時代に私は良く車で通った思い出の道です。途中、松尾神社に立ち寄り、蒲神明宮の遷宮により譲り受けて移築した真新しい本殿と神門を見学しました。現在、「家康の散歩道」の改定が検討されていて、松尾神社は新規に加えられるようです。宮司から神門の「ハートマークや鳳凰」などの説明を受け、将来、同行ガイドする時の参考になりました。



真新しい松尾神社の神門

お待ちかねのおやつタイムは西導寺廃寺で、浅田の杉野屋の「遠州揚げまんじゅう」「みそまん」のどちらかひとつでした。東漸寺で飯尾豊前守連龍(つらたつ)の五輪塔、「雨乞いの和歌三首」の石碑、法林寺で野口雨情の歌碑「すいっちょがいった」「一石三十三観音」などを見学しました。法林寺の住職は石灰で地面に「疫病退散」の願いを込めて、厄払いのアマビエを描いていました。



厄払いのアマビエ(法林寺にて)

成子町から拡幅工事の旧東海道を北に進み本陣跡、中番所跡などをたどり終点の梅谷本陣跡・ザザシティに無事戻りました。

変化が激しい浜松市の中心部で「浜松宿」の面影を探すのは難しいですが、今回、残された路地を歩くことで、古い時代の賑わいを想像することができて有意義な研修会でした。

広報部 春日康治(西ブロック)



# 浜松市東部協働センター主催 大人の学校 社会科 「観光ボランティア体験」

東部協働センター主催の「大人の学校『社会科』」は、普段体験できないことを体験しようと、①観光ボランティア体験。②裁判所の見学。③市議会議場の見学」の内、①の講師を依頼され、浜松城周辺の同行ガイドを実施しました。



スタート前の集合写真（せせらぎの池）

ガイドの会への勧誘をしました。その後、昭和28年の浜松城付近の写真の説明があり、本丸跡に齡松寺（れいしょうじ）のお墓が写っているのを見て驚きました。

「歴史は今見えているものだけでなく、時代と共に大きく移り変わって行くので、それに思いを馳せるのが面白い」との説明がありました。

その後、2グループに分かれて出発しました。

同行ガイドルートは、元城プール跡、鉄門（くろがねもん）跡、家康像、富士見櫓、天守門、天守曲輪、井戸、埋門、プラタナスの木、エントランス

（市役所本庁の西側広場）、鎧掛けの松、馬冷やし、井戸跡（旧元城小学校校庭内）、石垣（浜松城三の丸跡東側、松下屋敷跡標柱西側に位置）、松下嘉平之綱屋敷跡標柱、東照宮、日限り地蔵、玄黙口、本多技研発祥の地で、3km弱で、移動時間約40分、説明時間約1時間20分でした。

松下嘉平之綱屋敷跡で“頭陀寺城主の、松下之綱のお墓は西伝寺にあるがどうしてか理解できない”と説明をしたら、“頭陀寺城主と頭陀寺は不仲だったと聞いている”とその御近所に住む受講生が言っていました。



東照宮の家康公像&秀吉公像前にて

体温測定や、問診については「富士山の日記念ウォーク」の時にも参考にしたいと思います。

同じ参加者が11月に①を、12月に②を、1月に③を受講されるようです。

受講生は9人（男4人、女5人）、協働センターの担当者1名、浜松観光ボランティアガイドの会から3人（大村真佐夫会長、事業部戸塚正康、橋本彰）の計13人が、11月14日（土）午後1時15分、浜松城公園駐車場入り口のせせらぎの池付近に集合しました。

集まり次第、全員に体温測定、問診（味覚があるか？臭覚があるか？）を行い、最初は大村会長の挨拶がありました。その中で、浜松観光ボランティアガ



昭和28年当時の浜松城付近（左側：天守台 右側：本丸跡）

松下之綱屋敷跡から東照宮までは、「プラタモリ」で歩いた所を歩き、初めて通ったと受講生が感動していました。

東部協働センターの担当者は、最後の挨拶で「今日、聞いたことを次は、他の人に話すことがあると良いですね！」と勧誘してくれました。

観光ボランティアガイド養成講座のチラシを、8人は快く受け取りましたが、1人からは忙しいからと断られました。

全員がマスクをしており、顔の表情が分かりづらく、高齢の方が殆どでした。今後、養成講座に参加してもらえるかは何とも言えませんが、期待したいです。

事業部 戸塚正康（東ブロック）



## 西ブロック ミニ研修会 ① ガイドに役立つ自然観察

7月21日(火)と9月29日(火)の午後、西ブロック定例会終了後にミニ研修会「ガイドに役立つ自然観察・浜松城公園周辺」が開催されました。講師は自然観察指導員(日本自然保護協会登録)の高橋謙治さん(西ブロック)、参加者は合計18名でした。

「駐車場から城までお客様を案内する時に、道すがら会話にスパイスをかけるような気持ちで、自然観察を加えてみて、時にはユーモアを散りばめて楽しく案内できれば最高です」と高橋さんから研修目的の説明がありました。浜松城公園駐車場隣の「せせらぎの池」から「葵の小径」「戦災被爆者慰霊碑」を經由して「プラタナスの木」まで散策しながら、公園内の生い茂っている樹木等の名称と特徴を学びました。公園内には樹木、草花等が数多くありますが学んだ主なものは「ハギ、カバ、イグサ、ヤマブキ、エゴノキ、ナツツバキ、コブシ、アオキ、アセビ、ウツギ、サクラ、カエデ、タブノキ、プラタナス」です。更に季節の話題として「秋の七草」の「萩(はぎ)、尾花(すずき)、葛(くず)、撫子(なでしこ)、女郎花(おみなえし)、藤袴(ふじばかま)、朝顔(ききょう)」です。



市民の木・プラタナスの説明

当初、研修部が全会員対象に自然観察の講習会を企画していましたが、コロナ禍のため中止になりました。講師の高橋さんが事前に作成した研修資料を、このミニ研修会で活用しました。なかでもカバ(蒲)は関連の小話がいくつもできて楽しめました。

今後は幅広い知識でお客様に満足してもらえるような、理想的なガイドを目指したいと思います。

広報部 春日康治(西ブロック)

## 西ブロック ミニ研修会 ② 浜松城一周ウォーキング

10月27日(火)、西ブロック定例会終了後にミニ研修会「浜松城一周ウォーキング」が開催されました。西ブロックの仲間17人が青空の下、ソーシャルディスタンスにピッタリの浜松城公園広場緊急用トイレベンチに座って、コロナ禍で中止になっていた新人歓迎会と忘年会を兼ねて、高級お弁当でランチをしました。新人の桑原義信さんもやっとマスクを取った西ブロックの美女さん達を確認できました。

満腹になった後は関ヶ原の戦い以前の城としては、全国有数の巨大な浜松城を実感するために外周をウォーキングです。かつて深沼だった駐車場を横断して、明光寺口から今や東照宮で有名な引間城跡の4つの曲輪の空堀底に立って「何が出世のパワースポットだあ!飯尾家はここで滅びてるじゃん」と心の中で叫ぶ!家康が逃げ帰って来た玄黙口からいざ出陣!タモリさんが歩いた城と下町の段差を確認しながら下垂口から瓦門へ。ここから天守が正面に見えます。更に水堀や馬場の跡を南進、隅櫓の横には出陣等の待機場所「武者溜」がありました。大手門から東海道を南(西)へ一週間歩いて京都、東へ一週間歩いて江戸へ到着。昔の旅人は1日約40キロ歩いたそうです。5キロも歩けばへろへろの現代人が情けない。曳馬坂をのぼり交差点を右折して中央図書館の東下まで来ると袋町。文字通り侵入して来た敵は袋の鼠だ!出丸からの攻撃で全滅!名残口から谷を下って榎門に向かって来た敵も「出丸と清水曲輪からの挟み撃ちだあ!」ちょっと興奮してきたので馬冷やしの池で頭を冷やそうと思いましたが水が無い(笑)。



城と下町の段差を確認

錢櫓から西端城曲輪經由で作左曲輪へ、私の母校・中部中学校の校歌の歌詞にも出てくる「作左山」をぐるりと廻って、名残の番所の枡形の横から近藤谷に降り、焰硝蔵(火薬庫)があったあたりを想像しながら浜松城一周ウォーキング(約3km)はこれで完歩です。

松韻亭に寄って色づき始めた庭園を眺めながら、ようかと抹茶(400円)でいっぷくして、疲れた足を休めました。

西ブロック 飯尾隆

# 浜松城天守閣 展示リニューアル

2020年の今年は、徳川家康公が1570年（元亀元年）に浜松城を築いてから、450年の節目の年に当たります。

浜松市の都市整備部公園管理事務所が主体となり（関連部署として、産業部観光・シティプロモーション課及び市民部文化財課）「家康公浜松城築城450年事業」の一つとして、浜松城天守閣展示リニューアル工事が実施されています。

【リニューアル工事期間】2020年11月2日(月)から2020年12月28日(月)まで。

※工事期間中は、天守閣内の見学は不可。天守門、石垣等の見学は可。

【リニューアルの目的】徳川家康公による浜松城築城450年の節目を契機に、観光振興を図る目的として、浜松城天守閣の内装を更新し、浜松城天守閣の魅力向上を図る。

【リニューアル内容】①テーマに沿った展示パネル等の新設、デザインの統一化。②甲冑等展示物の更新。③展示解説の多言語化。④パノラマスクリーンによる映像展示。⑤発掘調査結果による、築城当時の城郭の地形をCGにて再現。⑥木質化の部材として天竜材等を活用。

なお、本工事を機会に、当会に關係する事項としては、①当会用新事務所の設置（天守閣内1階から、浜松城公園内公園管理棟の南側に設置）。②休憩室の設置（天守閣内浜松城スタッフ室の南側に設置）。③ガイド方法の再検討。等がありますが新事務所、休憩室の活用方法、天守閣内順路、展示物の由来の習得、説明方法等、運用方法の検討が必要かと思われます。

## ～長年お世話になった天守閣1階ボランティアガイド用事務所の設置経緯～

広報部員の春日さんが、西ブロックの1期生宮下さん、4期生高山さんのお二人に、当時を振り返っていただき、次のような事務所設置経緯が判明しました。

1. 当初は城の外で昼食をとった。（木陰や、雨の時はトイレの軒先等で済ませた）
2. 平成18年(2006年)4月当時、古橋初代会長等が浜松市担当部署等に交渉した結果、城内にガイドの会の事務所が設置された。

先輩会員のご尽力や、新事務所、休憩室の設置に感謝の意を表し、これからのガイド活動も気持ちを新たに精進して参りましょう。

広報部 小池輝夫（東ブロック）

## 11月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

複数回来場のあった団体

|            |    |      |
|------------|----|------|
| * 阪急交通社    | 5回 | 153名 |
| * クラブツーリズム | 3回 | 50名  |
| * 大人の休日倶楽部 | 2回 | 52名  |

|       |       |      |
|-------|-------|------|
| 6日 金  | 大瀬小学校 | 64名  |
| 12日 木 | 富塚中学校 | 35名  |
| 27日 金 | 白脇小学校 | 155名 |

### 《犀ヶ崖資料館》

|       |        |     |
|-------|--------|-----|
| 10日 火 | 新津小学校  | 42名 |
| 12日 木 | 富塚中学校  | 35名 |
| 12日 木 | 伊佐見小学校 | 32名 |

### 《浜松まつり会館》

|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 25日 水 | 中部小学校  | 111名 |
| 26日 木 | 和田東小学校 | 66名  |
| 27日 金 | 白脇小学校  | 155名 |

## は ま ま つ 案 内 人 会 報 221号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2（浜松城内）

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

は ま ま つ 案 内 人

検索

